

【ダブルベース】

ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

ルールブック 2-4項

ダブルベースは、一塁の守備者と打者走者との接触などの危険防止のために用いるベースです。

野球と異なり、ソフトボールの塁間は18.29mと短いため打者走者の速度も速く、過去に1塁ベース上での事故が頻発したため導入されました。

大きさは、38.1cm×76.2cm、厚さ7.62cm～12.7cm。

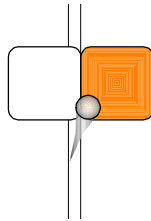
材質は、布またはその他の適当な物質。

白色部分はフェア地域、オレンジ色部分はファウル地域に固定する。

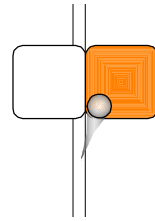
① 打球の判定

白色部分で判定する。

オレンジ部分はファウル。



フェアボール



ファウルボール

② 走塁時に打者走者がオレンジ部分を踏まなければアウトになるケース

内野ゴロ送球

外野ゴロ送球

三振後の守備者捕球ミスによる落球



空過しても、守備者にアピールされなければセーフ！

アピールされる前に白色部分に触れるとセーフ

白色部分に触れる前にアピールされればアウト

③ 走塁時に打者走者がオレンジ部分を踏むとアウトになるケース

なし



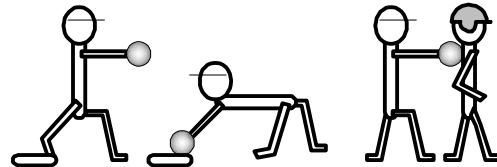
②のケースを除きオレンジ部分も1塁ベースとする

1塁でのプレイが行われない本塁打、長打に適用する

空過がありアピールされると、打者走者はアウト

誤解しやすいところ！

<アピールの方法は次の3種類>



ボールを持って
ベースを踏む

ボールをベースに
触球する

走者に
触球する

④ 走者の正しい触塁

白色部分のみ



オレンジ部分は離塁とみなす

打者走者が1塁を回り、2塁を伺い塁に戻る場合

ピックオフプレイ(牽制球)の帰塁

⑤ 守備者側の正しい触塁

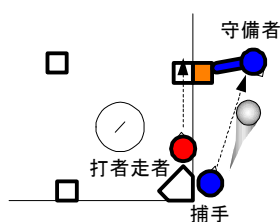
白色部分のみ



オレンジ部分は離塁とみなす

⑥ ④、⑤の例外

1塁側のファウル領域にて守備側の送球があった場合



打者走者、守備者いずれも、白色部分、オレンジ部分どちらも使用可能

守備者はオレンジ部分、打者走者は白色部分という決まりはない

誤解しやすいところ！